



Google Cloud Storage ドキュメント

Google Cloud Storage

NetApp
October 06, 2025

目次

Google Cloud Storage ドキュメント	1
NetAppコンソールの Google Cloud Storage の新機能	2
2025年10月6日	2
BlueXPはNetAppコンソールになりました	2
10 2023年7月	2
BlueXPから新しいバケットを追加し、既存のバケットを管理する機能	2
始めましょう	3
Google Cloud Storage バケットを表示する	3
Google Cloud Storage バケットを管理する	4
Google Cloud Storage バケットを追加する	4
Google Cloud Storage バケットの設定を変更する	6
ストレージクラスを変更する	6
バケット内のオブジェクトのラベルを追加または変更する	7
デュアルリージョンロケーションでターボレプリケーションを有効にするかどうかを変更する	7
Google Cloud Storage バケットでNetAppデータ サービスを使用する	7
知識とサポート	9
サポートに登録する	9
サポート登録の概要	9
NetAppサポートのためにNetAppコンソールに登録する	9
Cloud Volumes ONTAPサポートにNSS 認証情報を関連付ける	11
ヘルプを受ける	13
クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける	13
セルフサポートオプションを使用する	13
NetAppサポートでケースを作成する	13
サポートケースを管理する	16
法律上の表示	17
著作権	17
商標	17
特許	17
プライバシー ポリシー	17
オープンソース	17

Google Cloud Storage ドキュメント

NetAppコンソールの Google Cloud Storage の新機能

NetAppコンソールで Google Cloud Storage の新機能をご確認ください。

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータサービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、["NetAppコンソールのリリースノート"](#)。

10 2023年7月

BlueXPから新しいバケットを追加し、既存のバケットを管理する機能

BlueXP Canvas では、Google Cloud Storage バケットをかなり長い間表示できます。BlueXPから直接新しいバケットを追加したり、既存のバケットのプロパティを変更したりできるようになりました。["新しい Google Cloud Storage バケットを追加する方法をご覧ください"](#)。

始めましょう

Google Cloud Storage バケットを表示する

Google Cloud にコンソール エージェントをインストールすると、NetAppコンソールは、コンソール エージェントがインストールされている Google アカウントにある Google Cloud Storage バケットに関する情報を自動的に検出できるようになります。この情報を表示できるように、Google Cloud Storage システムがコンソールに追加されました。

Google Cloud Storage バケットに関する詳細情報（場所、アクセス ステータス、ストレージ クラス、合計容量と使用容量など）を確認できます。これらのバケットは、NetAppバックアップおよびリカバリ、NetAppクラウド階層化、またはNetAppコピーおよび同期操作の宛先として使用できます。

手順

1. ["コンソールエージェントをインストールする"](#)Google Cloud Storage バケットを表示する Google アカウントで。
2. NetAppコンソール メニューから、**ストレージ** を選択し、次に **管理** を選択します。

しばらくすると、Google Cloud Storage システムが自動的に表示されます。



1. Google Cloud Storage でNetApp Console サービスを有効にする場合は、システムを選択し、右側のペインからアクションを選択します。

["利用可能なNetAppコンソール サービスを確認し、Google Cloud Storage バケットでそれらを使用する方法を学びます"](#)。

2. Google アカウントのバケットの詳細を表示するには、**[Enter System]** を選択するか、システムをダブルクリックします。

デフォルトで表示される列に加えて、ページをスクロールしてバケットの追加プロパティ（ラベルの数や有効になっている暗号化の種類など）を表示できます。

次の手順

コンソールからバケット設定を直接変更するには、**...バケツ用**。"[詳細はこちら](#)"。

*バケットを追加*をクリックすると、新しいバケットを追加できます。"[詳細はこちら](#)"。

Google Cloud Storage バケットを管理する

Google Cloud Storage バケットを追加する

Google Cloud Storage システムが [システム] ページで利用可能になると、NetAppコンソールから直接バケットを追加できます。

手順

1. [システム] ページで、Google Cloud Storage システムをダブルクリックして Google Cloud Storage バケットの概要ページを表示し、[バケットを追加] をクリックします。

バケットの追加 ページが表示されます。

2. **_プロジェクトの詳細_**セクションに必要な情報を入力します。
 - **バケット名** - バケットに使用する名前を入力します。"[命名要件については、Google Cloud のドキュメントをご覧ください。](#)"。
 - **Google プロジェクト** - バケットの所有者となる Google プロジェクトを選択します。これは、コンソール エージェントがデプロイされたプライマリ プロジェクトにすることも、別のプロジェクトにすることもできます。ドロップダウン リストに追加のプロジェクトが表示されない場合は、NetAppコンソール サービス アカウントが他のプロジェクトにまだ関連付けられていません。Google Cloud コンソールに移動し、IAM サービスを開いて、プロジェクトを選択します。NetAppコンソール ロールを持つサービス アカウントをそのプロジェクトに追加します。プロジェクトごとにこの手順を繰り返す必要があります。注: これはNetAppコンソール用に設定したサービスアカウントです。"[このページに記載されている通り](#)"。
 - **ラベル** - ラベルは、Google Cloud リソースのメタデータです。バケットを作成するときに、最大 10 個のラベル キー:値ペアを追加できます。<https://cloud.google.com/compute/docs/labeling-resources>["ラベルの詳細については、Google Cloud のドキュメントをご覧ください。"]。
3. **Location** セクションで、バケットが作成されるロケーション タイプとリージョン (複数可) を選択します。3 つの異なるタイプの場所から選択できます。

「場所の種類」を選択した場合...	次に選択します...
リージョン	「利用可能なリージョン」フィールドからの単一のリージョン。
デュアルリージョン	「利用可能な場所」フィールドから地理的な場所 (単一の大陸) を選択し、「利用可能な地域」フィールドで 2 つの地域を選択します。 15 分以内に新しく書き込まれたすべてのオブジェクトの地理的冗長性を保証する場合は、「ターボ レプリケーション」を有効にできます。
マルチリージョン	「利用可能なマルチリージョン」フィールドからの地理的マルチリージョン。

すべての Cloud Storage データは、アップロードされるとすぐに、少なくとも 1 つの地理的な場所内の少なくとも 2 つのゾーンにわたって冗長化されることに注意してください。"[バケットの場所の詳細については、Google Cloud のドキュメントをご覧ください。](#)"。

4. ストレージ クラス セクションで、バケット内のオブジェクトに使用するストレージ クラスを選択します。4 つのストレージ クラスから選択するか、*Autoclass* を選択して、必要に応じて Google がクラスを調整することもできます。
- **標準** - 頻繁にアクセスされるデータ (「ホット」データ) や、短期間のみ保存されるデータに最適です。
 - **Nearline** - アクセス頻度の低いデータを保存するための低コストで耐久性の高いストレージ サービス。
 - **Coldline** - あまり頻繁にアクセスされないデータを保存するための、非常に低コストで耐久性の高いストレージ サービスです。
 - **アーカイブ** - データのアーカイブ、オンライン バックアップ、災害復旧のための、最も低コストで耐久性に優れたストレージ サービスです。
 - **Autoclass** - 各オブジェクトのアクセス パターンに基づいて、バケット内のオブジェクトを適切なストレージ クラスに自動的に移行します。

コストと取得料金はストレージ クラスごとに異なります。"[ストレージクラスの詳細については、Google Cloud のドキュメントをご覧ください。](#)"。

5. *[Protection]* セクションで、バケット内のオブジェクトを保護するためにデータ保護ツールを使用するか、データへのアクセスを保護するためにデータ暗号化構成を使用するかを選択します。

データ保護ツール

- なし - デフォルトでは、バケットで保護ツールは有効になっていません。
- オブジェクトのバージョン管理 - オブジェクトのバージョン管理は、オブジェクトの複数のバージョンを同じバケット内に保持する手段です。バケットは、ライブ オブジェクトバージョンを更新、置換、または削除するたびに、非最新のオブジェクトバージョンを保持し、オブジェクトの保護されたバージョンを継続的に維持します。「オブジェクトのバージョン管理」を選択すると、次の 2 つのオプションを指定できます。
 - オブジェクトあたりの最大バージョン数 - 作成されるオブジェクトあたりの非最新バージョンの数を入力します。
 - 非最新バージョンの有効期限 - 古い非最新オブジェクトが削除されるまでの日数を入力します。
- 保持ポリシー - 保持ポリシーにより、バケット内の現在のオブジェクトと将来のオブジェクトはすべて、保持ポリシーで定義した期間に達するまで削除または置換できなくなります。「保持ポリシー」を選択すると、次の 2 つのオプションを指定できます。
 - オブジェクトの保持期間 - オブジェクトを保持する秒数、日数、月数、または年数を入力します。
 - 時間枠 - 時間の単位を秒、日、月、年のいずれかから選択します。

オブジェクトのバージョン管理ツールと保持ポリシー保護ツールを同時に有効にすることはできません。Google Cloud のドキュメントをご覧ください "[オブジェクトのバージョン管理に関する詳細情報](#)"、そして "[保持ポリシーに関する詳細情報](#)"。

データ暗号化ツール

- **Google** 管理の暗号化キー - デフォルトでは、Google 管理の暗号化キーがデータの暗号化に使用されます。
- 顧客管理の暗号化キー - デフォルトの Google 管理の暗号化キーの代わりに、独自の顧客管理キーを使用してデータを暗号化できます。独自の顧客管理キーを使用する予定の場合は、このページでキーを

選択できるように、事前にキーを作成しておく必要があります。

キーはバケットと同じプロジェクトに配置することも、別のプロジェクトを選択することもできます。

Google Cloudのドキュメントをご覧ください "[Google が管理する暗号化キーに関する詳細情報](#)"、そして "[顧客管理暗号化キーの詳細情報](#)"。

6. *追加*をクリックするとバケットが作成されます。

Google Cloud Storage バケットの設定を変更する

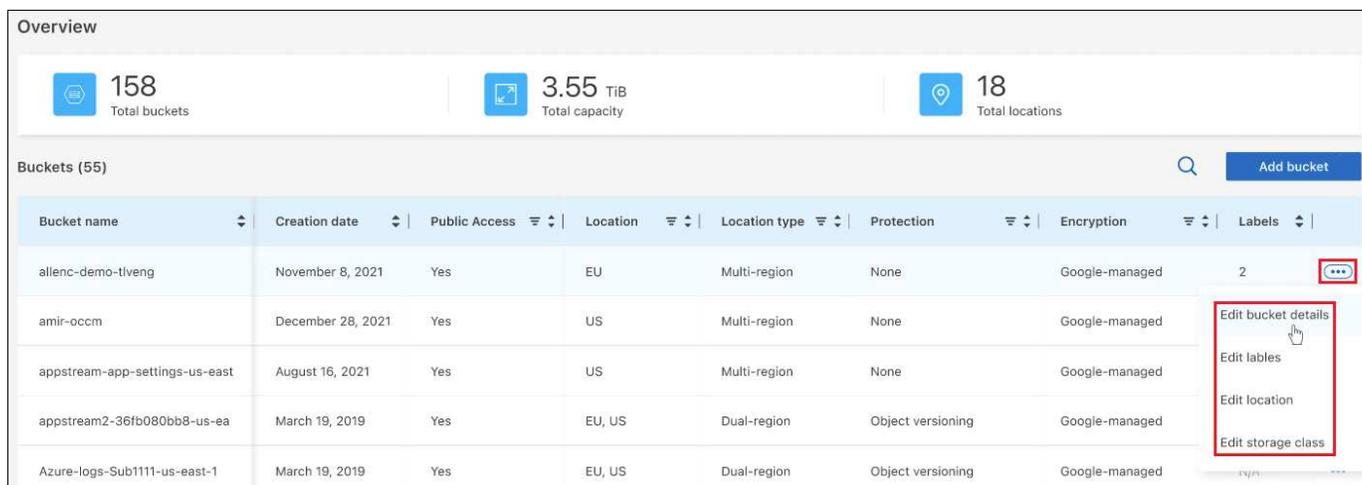
Google Cloud Storage システムが [システム] ページで利用できる場合は、NetAppコンソールからバケットの一部のプロパティを直接変更できます。

バケット名、Google プロジェクト、保護設定は変更できないことに注意してください。

変更できるバケットのプロパティは次のとおりです。

- バケット内の将来のすべてのオブジェクトのストレージ クラス。
- バケット内のオブジェクトにラベルを追加、編集、削除することができます。
- ターボ レプリケーション モード - バケットがデュアルリージョンの場所にある場合のみ。

これらのバケット設定は、NetAppコンソールから直接変更することができます。...次に、バケットの*バケットの詳細を編集*します。



Bucket name	Creation date	Public Access	Location	Location type	Protection	Encryption	Labels
allenc-demo-tiveng	November 8, 2021	Yes	EU	Multi-region	None	Google-managed	2
amir-occm	December 28, 2021	Yes	US	Multi-region	None	Google-managed	
appstream-app-settings-us-east	August 16, 2021	Yes	US	Multi-region	None	Google-managed	
appstream2-36fb080bb8-us-ea	March 19, 2019	Yes	EU, US	Dual-region	Object versioning	Google-managed	
Azure-logs-Sub1111-us-east-1	March 19, 2019	Yes	EU, US	Dual-region	Object versioning	Google-managed	

ストレージクラスを変更する

ストレージ クラス セクションでは、特定の変更のみを行うことができます。

- バケットの作成時に *Autoclass* を選択した場合は、*Autoclass* を無効にして別のストレージ クラスを選択できます。
- バケットの作成時に他のストレージ クラスを選択した場合は、*Autoclass* を除く他のストレージ クラスに変更できます。

別のクラスにあったオブジェクトはそのクラスに残りますが、新しいオブジェクトは新しいクラス設定を使用します。

バケット内のオブジェクトのラベルを追加または変更する

ラベルは、リソースをグループ化してアプリケーション、環境、リージョン、クラウド プロバイダーなどを識別するために使用できるメタデータです。ラベルはキーと値で構成されます。バケットにラベルを追加して、オブジェクトがバケットに追加されたときにそのラベルがオブジェクトに適用されるようにすることができます。ラベルやラベル値を変更したり削除したりすることもできます。

ラベルを追加または編集したら、[適用] をクリックして変更を保存します。さらにラベルを追加する場合は、「新しいラベルを追加」をクリックします。バケットごとに最大 10 個のラベルを追加できます。

デュアルリージョンロケーションでターボレプリケーションを有効にするかどうかを変更する

バケットがデュアルリージョンの場所にある場合は、ターボレプリケーション モードを有効にするか無効にするかを有効または無効にできます。「ターボレプリケーション」を使用すると、15 分以内に新しく書き込まれたすべてのオブジェクトの地理的な冗長性を保証できます。

バケットの作成後は、その他の場所の詳細は変更できません。

Google Cloud Storage バケットでNetAppデータ サービスを使用する

NetAppコンソールで Google Cloud Storage バケットを検出すると、バックアップ、階層化、データ同期にNetAppデータサービスを使用できます。

- * NetApp Backup and Recovery* を使用して、オンプレミスのONTAPおよびCloud Volumes ONTAPシステムから Google Cloud オブジェクト ストレージにデータをバックアップします。

開始するには、[システム] ページに移動し、オンプレミスのONTAPまたはCloud Volumes ONTAPシステムを Google Cloud Storage システムにドラッグ アンド ドロップします。

["ONTAPデータを Google Cloud Storage にバックアップする方法の詳細"](#)。

- * NetApp Cloud Tiering* を使用して、オンプレミスのONTAPクラスターから Google Cloud オブジェクト ストレージに非アクティブなデータを階層化します。

開始するには、[システム] ページに移動し、オンプレミスのONTAPシステムを Google Cloud Storage システムにドラッグ アンド ドロップします。

["ONTAPデータを Google Cloud Storage に階層化する方法の詳細"](#)。

- * NetApp Copy and Sync* を使用して、Google Cloud Storage バケットとの間でデータを同期します。

開始するには、「システム」ページに移動し、ソース システムをターゲット システムにドラッグ アンド ドロップします。Google Cloud Storage システムはソースまたはターゲットのいずれかになります。

Google Cloud Storage システムを選択し、[サービス] パネルから [コピーと同期] をクリックして、Cloud

Storage バケットとの間でデータを同期することもできます。

["NetApp Copy and Syncサービスの詳細"](#)。

知識とサポート

サポートに登録する

NetAppコンソールとそのストレージソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウド プロバイダー ファイル サービスに対するNetAppサポートは有効になりません。クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

サポート登録の概要

サポート資格を有効にするには、次の 2 つの登録形式があります。

- NetAppコンソール アカウントのシリアル番号 (コンソールの [サポート リソース] ページにある 20 桁の 960xxxxxxxx シリアル番号) を登録します。

これは、コンソール内のすべてのサービスに対する単一のサポート サブスクリプション ID として機能します。各コンソール アカウントを登録する必要があります。

- クラウド プロバイダーのマーケットプレイスで、サブスクリプションに関連付けられたCloud Volumes ONTAPシリアル番号を登録します (これらは 20 桁の 909201xxxxxxxx シリアル番号です)。

これらのシリアル番号は一般に *PAYGO* シリアル番号 と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAP の導入時にNetAppコンソールによって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録すると、サポート チケットの開設やケースの自動生成などの機能が有効になります。登録は、以下の説明に従ってNetAppサポート サイト (NSS) アカウントをコンソールに追加することで完了します。

NetAppサポートのためにNetAppコンソールに登録する

サポートに登録し、サポート資格を有効にするには、NetAppコンソール アカウントの 1 人のユーザーがNetAppサポート サイト アカウントをコンソール ログインに関連付ける必要があります。NetAppサポートに登録する方法は、NetAppサポート サイト (NSS) アカウントをすでにお持ちかどうかによって異なります。

NSSアカウントをお持ちの既存顧客

NSS アカウントをお持ちのNetApp のお客様の場合は、コンソールからサポートに登録するだけです。

手順

1. 管理 > *資格情報*を選択します。
2. *ユーザー資格情報*を選択します。
3. **NSS** 資格情報の追加 を選択し、NetAppサポート サイト (NSS) の認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが成功したことを確認するには、[ヘルプ] アイコンを選択し、[サポート] を選択します。

リソース ページには、コンソール アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。

他のコンソール ユーザーは、ログインにNetAppサポート サイト アカウントを関連づけていない場合、同じサポート登録ステータスを表示しないことに注意してください。ただし、これはあなたのアカウントがサポートに登録されていないことを意味するものではありません。組織内の 1 人のユーザーがこれらの手順を実行していれば、アカウントは登録済みになります。

既存の顧客だが**NSS**アカウントがない

既存のライセンスとシリアル番号を持ち、NSS アカウントを持っていない場合、既存のNetApp顧客は、NSS アカウントを作成し、それをコンソール ログインに関連付ける必要があります。

手順

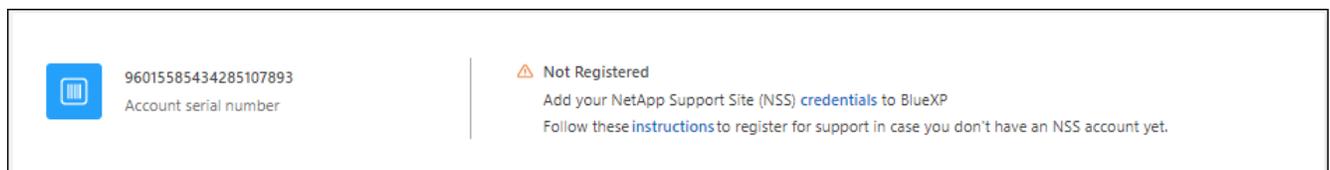
1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
 - b. 上記で使用したコンソール アカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. 以下の手順を実行して、新しいNSSアカウントをコンソールログインに関連付けます。 [NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

NetAppの最新情報

NetAppを初めて使用し、NSS アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。
2. サポート登録ページからアカウント ID シリアル番号を見つけます。



3. 移動先 "[NetAppのサポート登録サイト](#)"私は登録済みの**NetApp**顧客ではありません を選択します。
4. 必須フィールド (赤いアスタリスクが付いているフィールド) に入力します。
5. 製品ライン フィールドで、**Cloud Manager** を選択し、該当する請求プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順 2 からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティ チェックを完了して、NetApp のグローバル データ プライバシー ポリシーを読んだことを確認します。

この安全な取引を完了するために、指定されたメールボックスに電子メールが直ちに送信されます。検証

メールが数分以内に届かない場合は、必ずスパム フォルダーを確認してください。

7. メール内からアクションを確認します。

確認すると、リクエストがNetAppに送信され、NetAppサポート サイトのアカウントを作成することが推奨されます。

8. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"

- a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
- b. 上記で使用したアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより処理速度が向上します。

終了後の操作

このプロセス中に、NetAppから連絡が来るはずですが、これは、新規ユーザー向けの1回限りのオンボーディング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、以下の手順を実行して、アカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける

Cloud Volumes ONTAPの次の主要なワークフローを有効にするには、NetAppサポート サイトの認証情報をコンソール アカウントに関連付ける必要があります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムをサポート対象として登録する

システムのサポートを有効にし、NetAppテクニカル サポート リソースにアクセスするには、NSS アカウントを提供する必要があります。

- BYOL (個人ライセンス使用) 時にCloud Volumes ONTAP を導入する

コンソールがライセンス キーをアップロードし、購入した期間のサブスクリプションを有効にするには、NSS アカウントを提供する必要があります。これには、期間更新の自動更新が含まれます。

- Cloud Volumes ONTAPソフトウェアを最新リリースにアップグレードする

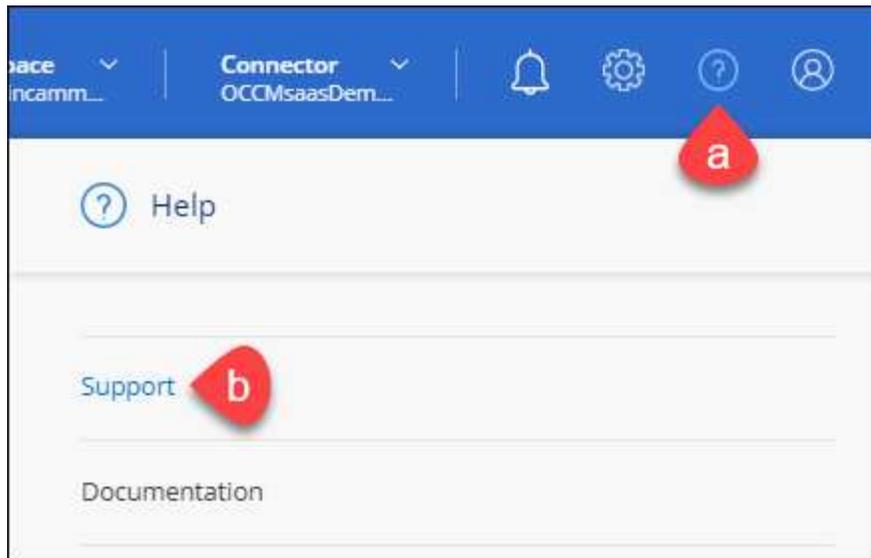
NSS 資格情報をNetAppコンソール アカウントに関連付けることは、コンソール ユーザー ログインに関連付けられている NSS アカウントとは異なります。

これらの NSS 資格情報は、特定のコンソール アカウント ID に関連付けられています。コンソール組織に属するユーザーは、サポート > **NSS** 管理 からこれらの資格情報にアクセスできます。

- 顧客レベルのアカウントをお持ちの場合は、1つ以上の NSS アカウントを追加できます。
- パートナー アカウントまたは再販業者アカウントをお持ちの場合は、1つ以上の NSS アカウントを追加できますが、顧客レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。



2. *NSS管理 > NSSアカウントの追加*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、[続行] を選択して、Microsoft ログイン ページにリダイレクトします。

NetApp は、サポートとライセンスに固有の認証サービスの ID プロバイダーとして Microsoft Entra ID を使用します。

4. ログイン ページで、NetAppサポート サイトに登録した電子メール アドレスとパスワードを入力して、認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、コンソールはライセンスのダウンロード、ソフトウェア アップグレードの検証、将来のサポート登録などに NSS アカウントを使用できるようになります。

次の点に注意してください。

- NSS アカウントは顧客レベルのアカウントである必要があります (ゲスト アカウントや一時アカウントではありません)。顧客レベルの NSS アカウントを複数持つことができます。
- パートナー レベルのアカウントの場合、NSS アカウントは 1 つだけ存在できます。顧客レベルの NSS アカウントを追加しようとしたときにパートナー レベルのアカウントが存在する場合は、次のエラー メッセージが表示されます。

「異なるタイプの NSS ユーザーがすでに存在するため、このアカウントでは NSS 顧客タイプは許可されません。」

既存の顧客レベルの NSS アカウントがあり、パートナー レベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインが成功すると、NetApp は NSS ユーザー名を保存します。

これは、メールにマッピングされるシステム生成の ID です。*NSS管理*ページでは、... メニュー。

- ログイン認証トークンを更新する必要がある場合は、... メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするよう求められます。これらのアカウントのトークンは 90 日後に期限切れになることに注意してください。これを知らせる通知が投稿されます。

ヘルプを受ける

NetApp は、NetAppコンソールとそのクラウド サービスをさまざまな方法でサポートします。ナレッジベース (KB) 記事やコミュニティ フォーラムなど、豊富な無料のセルフサポート オプションが 24 時間 365 日ご利用いただけます。サポート登録には、Webチケットによるリモートテクニカルサポートも含まれます。

クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける

クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントを参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

NetAppとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、以下に説明するサポート オプションを使用してください。

セルフサポートオプションを使用する

以下のオプションは、24 時間 365 日無料でご利用いただけます。

- ドキュメント

現在表示しているNetAppコンソールのドキュメント。

- ["ナレッジベース"](#)

NetAppナレッジベースを検索して、問題のトラブルシューティングに役立つ記事を見つけます。

- ["コミュニティ"](#)

NetAppコンソール コミュニティに参加して、進行中のディスカッションをフォローしたり、新しいディスカッションを作成したりできます。

NetAppサポートでケースを作成する

上記のセルフ サポート オプションに加えて、サポートを有効にした後は、NetAppサポート スペシャリストと協力して問題を解決することもできます。

始める前に

- *ケースの作成*機能を使用するには、まずNetAppサポート サイトの資格情報をコンソール ログインに関連付ける必要があります。 ["コンソールログインに関連付けられた資格情報を管理する方法を学びます"](#)。
- シリアル番号を持つONTAPシステムのケースを開く場合は、NSS アカウントがそのシステムのシリアル番号に関連付けられている必要があります。

手順

1. NetAppコンソールで、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。
2. *リソース*ページで、テクニカル サポートの下にある利用可能なオプションのいずれかを選択します。
 - a. 電話で誰かと話したい場合は、「電話する」を選択してください。電話をかけることができる電話番号をリストした netapp.com のページに移動します。
 - b. NetAppサポート スペシャリストとのチケットを開くには、[ケースを作成] を選択します。
 - サービス: 問題が関連付けられているサービスを選択します。たとえば、* NetAppコンソール* は、コンソール内のワークフローまたは機能に関するテクニカル サポートの問題に固有の場合です。
 - システム: ストレージに該当する場合は、* Cloud Volumes ONTAP* または **On-Prem** を選択し、関連する作業環境を選択します。

システムのリストは、コンソール組織と、上部のバナーで選択したコンソール エージェントの範囲内にあります。

- ケースの優先度: ケースの優先度 (低、中、高、重大) を選択します。

これらの優先順位の詳細を確認するには、フィールド名の横にある情報アイコンの上にマウスを置きます。

- 問題の説明: 該当するエラー メッセージや実行したトラブルシューティング手順など、問題の詳細な説明を入力します。
- 追加のメールアドレス: この問題を他の人に知らせたい場合は、追加のメールアドレスを入力してください。
- 添付ファイル (オプション): 一度に 1 つずつ、最大 5 つの添付ファイルをアップロードします。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

ntapitdemo 
NetApp Support Site Account

Service Working Enviroment

Select Select

Case Priority 

Low - General guidance

Issue Description

Provide detailed description of problem, applicable error messages and troubleshooting steps taken.

Additional Email Addresses (Optional) 

Type here

Attachment (Optional) Upload 

No files selected  

終了後の操作

サポート ケース番号を示すポップアップが表示されます。NetAppサポート スペシャリストがお客様のケースを確認し、すぐにご連絡いたします。

サポート ケースの履歴については、設定 > タイムライン を選択し、「サポート ケースの作成」というアクションを探します。右端のボタンを使用すると、アクションを展開して詳細を表示できます。

ケースを作成しようとする時、次のエラー メッセージが表示される場合があります。

「選択したサービスに対してケースを作成する権限がありません」

このエラーは、NSS アカウトとそれに関連付けられているレコード会社が、NetAppコンソール アカウトのシリアル番号のレコード会社と同じではないことを意味している可能性があります (つまり、960xxxx) または作業環境のシリアル番号。次のいずれかのオプションを使用してサポートを求めることができます。

- 非技術的なケースを提出する <https://mysupport.netapp.com/site/help>

サポートケースを管理する

アクティブなサポート ケースと解決済みのサポート ケースをコンソールから直接表示および管理できます。NSS アカウントおよび会社に関連付けられたケースを管理できます。

次の点に注意してください。

- ページ上部のケース管理ダッシュボードには、次の 2 つのビューがあります。
 - 左側のビューには、指定したユーザー NSS アカウントによって過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。
 - 右側のビューには、ユーザーの NSS アカウントに基づいて、会社レベルで過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。

表の結果には、選択したビューに関連するケースが反映されます。

- 関心のある列を追加または削除したり、優先度やステータスなどの列の内容をフィルタリングしたりできます。その他の列は並べ替え機能のみを提供します。

詳細については、以下の手順をご覧ください。

- ケースごとに、ケースメモを更新したり、まだ「クローズ」または「クローズ保留中」ステータスになっていないケースをクローズしたりする機能を提供します。

手順

1. NetAppコンソールで、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。
2. *ケース管理*を選択し、プロンプトが表示されたら、NSS アカウントをコンソールに追加します。

ケース管理 ページには、コンソール ユーザー アカウントに関連付けられている NSS アカウントに関連するオープン ケースが表示されます。これは、**NSS 管理** ページの上部に表示される NSS アカウントと同じです。

3. 必要に応じて、テーブルに表示される情報を変更します。
 - *組織のケース*の下で*表示*を選択すると、会社に関連付けられているすべてのケースが表示されます。
 - 正確な日付範囲を選択するか、別の期間を選択して日付範囲を変更します。
 - 列の内容をフィルタリングします。
 - 表に表示される列を変更するには、次に、表示する列を選択します。
4. 既存のケースを管理するには、利用可能なオプションのいずれかを選択します。
 - ケースを表示: 特定のケースに関する詳細をすべて表示します。
 - ケースノートを更新: 問題に関する追加の詳細を入力するか、*ファイルのアップロード*を選択して最大 5 つのファイルを添付します。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

- ケースを閉じる: ケースを閉じる理由の詳細を入力し、[ケースを閉じる] を選択します。

法律上の表示

法的通知から、著作権情報、商標、特許などを確認できます。

著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

商標

NetApp、NetAppのロゴ、NetAppの商標一覧のページに掲載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

特許

現在NetAppが所有する特許の一覧は以下のページから閲覧できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

プライバシー ポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

オープンソース

通知ファイルには、NetAppソフトウェアで使用されるサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が提供されます。

["NetAppコンソールに関するお知らせ"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。